大阪狭山市女性のためのよりそいホットライン事業【大阪狭山市】

総事業費

1353 +円

交付金額 913 ∓⊞

地域の実情と課題

令和5年2月に市民を対象に実施した男女共同参画に関する市民意識調査にお いて、「女性のための相談窓口を知っている」と回答した市民の割合は48.2%で あったが、年代別に比較すると、10歳代~30歳代までの知っている割合は、他の 年代よりも低い傾向にあり、また、現在、男女共同参画推進センター内で実施して いる専門のカウンセラーによる「女性のための相談事業」の利用者は主に50代 以上が大半(令和6年度利用者全体の67.5%)であり、若い世代に相談窓口が あることが周知・浸透できていない。加えて、「女性のための相談」は予約が必要 であるため、自発的な行動ができる人が利用している状況であり、思いついたとき に、悩みを聞いてほしいといった相談者が利用できる受け皿が整っていない。

男女共同参画の推進のためには次世代育成が必須であると考えるため、若い 世代への男女共同参画推進センター(きらっとぴあ)の存在の周知とともに、若い 世代がアクセスしやすい事業、相談したい人が気軽に男女共同参画推進セン ターを頼ることができる事業を展開し、身近な相談先のひとつとして認識してもら える施設にしていくことが必要である。

事業の特徴

- ・電話相談事業の実施を若年層を中心に宣伝することにより、若年層に男女共 同参画推進センター(きらっとぴあ)の存在を認知してもらい、若い世代の方でも 気軽に立ち寄れる施設であることや、学校以外でも相談でき、将来自分たちの 頼れる場所であることを知るきっかけ作りを行う。
- ・男女共同参画推進センター(きらっとぴあ)の相談機能を拡充し、若年層も相 談しやすい施設への機能強化を図る。
- 相談窓口を知らなかったり、自発的に相談することが難しい女性や女児が、潜 在的に抱えている相談ニーズを発掘する。

事業の効果

毎月末に、相談件数等の内訳を集計し、月ごとの数値を分析し、事業効果 及び効果検証を行った。

目標値である年度内電話相談利用者数100件に対し、実績は157件と達成 率は150%超であったことから、相談ニーズの掘り起こしや相談しやすい窓 口の周知について目的を達成できたため、事業効果は高いといえる。

目的•目標

生活困窮等によって困りごとが生じているが誰にも相談できない女性や 女児がいつでも相談できる相談手段の拡充のため、大阪狭山市男女共 同参画推進センター(きらっとぴあ)に、電話による「女性のためのよりそ いホットライン」を開設し、相談につながるきっかけ作りを行った。

目標値である年度内電話相談利用者数100件に対し、実績は157件と達 成率は150%超であったことから、相談ニーズの掘り起こしや相談しやす い窓口の周知について目的を達成できた。

連携団体

大阪狭山市 大阪狭山市教育委員会 特定非営利活動法人ふぇみぱる堺

今後の課題

雇用や家庭の問題をきっかけに、生活困窮や生活課題といった困難な 問題に直面するケースが継続して発生している。令和6年度の事業実績 を見ても、一年を通じて、中長期的な働きかけによる成果を検証する必 要があることから、短期的な事業ではなく、継続した事業の実施を図る必 要がある。一方で、相談窓口の設置には一定の財源が必要であり、財源 確保が大きな課題である。

事業の概要

大阪狭山市女性のためのよりそいホットライン事業

【概要】

電話での相談事業を男女共同参画推進センター(きらっとぴあ)にて実施することで、孤独や孤立、不安を抱えている女性が気軽に相談できる機能を拡充させるとともに、事業のチラシを市内小中高校へ配布し、ポスターの掲示を行うことで、相談先の周知とともに、男女共同参画推進センター(きらっとぴあ)の存在を若年層に知ってもらう。





○電話相談内容

・相談日時 毎月第2・第4月曜日 午前10時から午後5時まで 第1~第4火曜日 午前10時から午後5時まで (受付時間は午後4時30分まで)

- 予約不要。上記時間内ならいつでも電話を受付。 ・実施期間:令和6年4月1日から令和7年3月31日まで 年末年始(12/29~1/5)及び祝日は休み
- •相談専用電話番号:090-2112-3970

(一度架電していただくと、専門員がかけなおします。)

相談無料、相談時間は30分を目安とする。

相談内容や相談者の秘密は厳守。

相談状況によってはお待ちいただく場合がある。



